

都道府県別賞一等

長い人生の先に

群馬県 桐生市立梅田中学校 二学年

中村 菜南

セミの寿命は一カ月。アリの寿命は二〜三年。キリンの寿命は長くとも三十年。地球上の数ある生物の中で、百年と生きるものは数少ないでしょう。ですが私たち人間は、近年人生百年時代と言われるように、この地球上で他の生物たちよりも遥かに長い時を刻むこととなります。きっと今十四歳の私も、これから高校生になり、大学生になり、仕事に就き、結婚をするかもしれないし、そうなたら子供を授かりおばあちゃんに……なんていう長い長い人生が待っていることでしょう。長い時を刻むということは、とても幸せで、恵まれたことです。ですが刻む時間が長いからこそ、人間に生まれたからこそ、挫折、苦しみ、辛いことは、たくさんあると思います。

私は野球を見るのが好きです。毎年甲子園は何カ月も前から楽しみにしているほです。そんな中、今年の春のセンバツで、群馬県の高校が群馬県勢初の優勝を果たしました。そしてなんと今年の夏の甲子園にも、群馬県代表として先日父から、シヨックなニュースを聞きました。その高校の選手が、肘のケガによって甲子園に出場できなくなったというものです。どれほどその選手が甲子園を夢見てきたか想像すると、もどかしい気持ちと気の毒な気持ちになります。でもその選手は、「手術をしてしつかり治して、来年の甲子園にかけたい。」と話したそうです。この手術というのは、損傷した肘の部分をいったん切除し、正常な肘を増やして治す、トミー・ジョン手術というものです。この手術の平均費用は、入院費込みでなんと三百万円ほど。中学生の私にはとうてい想像できない大金です。こんなに高額な手術を、本当にその選手は受けられるのかと心配になりました。ですが、ある記事に書いてあったのです。生命保険によって、入院費込みで十五万〜三十万円、この手術が受けられると。

私は、その選手が苦しみやくやしさを抱えながらも前向きになれたのは、生命保険のおかげだと想像します。本来なら、三百万円もする手術。生命保険がなかったら、高額な手術に圧倒され、手術をして治せば来年は甲子園に出られるから!と、ふっきれなかったのではないのでしょうか。野球にすべてをかけてきた少年のピンチを救ったのは、生命保険だったのだと感じ、私は初めて生命保険の大切さを知りました。

人生百年時代。セミやアリやキリンと違い、人間はそう言われます。私には

## 第62回中学生作文コンクール

これからまだ長い人生が残されています。長い人生の先には、その選手のように、すべてをかけてきた夢の舞台が突然閉ざされることもあるでしょう。そんな人生の壁にぶつかっても、夢へ突き進んで行きたいです。生命保険に支えられながら。